

平成17年度ホンモロコ標識放流調査

太田 滋規

◆背景・目的

激減したホンモロコの種苗放流をより効果的なものとするため、放流場所の検討と資源の基礎的なデータを得ることを目的に冬期の沖曳網による標識調査を行った

◆成果の内容・特徴

- 平成16年度と同様に、水試地先の犬上川河口域に全長20mmおよびふ化仔魚の放流を行い、冬期の沖曳網漁獲物による3,551尾の標識調査を行った。
- 前年度と同様に犬上川河口域に放流した20mm稚魚の再捕率は比較的高く、北湖の全域で再捕された(表1)。
- 沖曳網漁獲ホンモロコは0歳魚がほとんどを占めることや、雌雄比は1歳魚以上のものでは雌に偏ること、また、平均体長はそれぞれの年齢で雌の方が大きいことは、これまでの調査結果と同様であった(表2)。

◆成果の活用・留意点

- 犬上川河口域のような場所はホンモロコの稚魚放流には適地と考えられる。今後は大量ふ化仔魚放流に向けて効果を上げるための放流方法等を検討する。

表1 沖曳網漁獲ホンモロコの標識調査結果

	再捕尾数	混獲率(%)	標識放流尾数	再捕率(%)
2歳魚無標識	5	0.14		
1歳魚無標識	49	1.38		
1歳魚裁セ	1	0.03	1,067,000	0.0001
1歳魚水試	5	0.14	257,000	0.0019
0歳魚無標識	2,791	78.60		
0歳魚裁セ	431	12.14	2,145,000	0.0201
0歳魚水試20mm稚魚	226	6.36	308,000	0.0734
0歳魚水試ふ化仔魚	4	0.11	3,656,000	0.0001
冬放流	39	1.10	116,000	0.0336
総計	3,551			

表2 沖曳網で漁獲されたホンモロコの年齢および雌雄別の平均体長と尾数

	雌			雄			不明			合計尾数	尾数割合(%)
	体長(mm) 平均±標準偏差	尾数	尾数割合(%)	体長(mm) 平均±標準偏差	尾数	尾数割合(%)	体長(mm) 平均±標準偏差	尾数	尾数割合(%)		
0歳	84.10±8.19	1621	46.4	80.37±7.51	1865	53.4	67.47±5.08	5	0.1	3491	98.3
1歳	97.84±7.34	37	67.3	93.74±4.00	18	32.7	—	0	—	55	1.5
2歳	112.91±6.57	4	80.0	93.33	1	20.0	—	0	—	5	0.1
合計		1662	46.8		1884	53.1		5	0.1	3551	100.0